

第4回各務原市総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会 議事概要

日 時 令和2年12月22日（火）午前9時00分より

場 所 産業文化センター2階第3会議室

出席委員 鈴木壯委員長、三井栄副委員長、横山浩之委員、三村武俊委員、川上進委員、
小澤次郎委員、櫻木隆宏委員、今尾謙二委員、永田美帆委員、荻谷道宏委員

欠席委員 なし

1. 委員長あいさつ

2. 議事

（1）基本構想素案の確認について

i) 機能・規模について

ii) 整備手法について

iii) 整備スケジュール、実施課題について

（2）パブリックコメントの実施について

議事録（要旨）

議事 （1）基本構想素案の確認について

i) 機能・規模について

資料1 基本構想

事務局説明	
・第4回の委員会を踏まえ、施設規模を大きさに応じて3案検討し、比較・評価した結果を説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	この件に関して何かご意見やご質問はあるか。
委員	基本方針に則ってまとめていただければと思う。 市の人口が今後減少していくことから、人口規模からみるとB案が良いと思う。
委員	費用面について確認をしたいが、参考までに市庁舎の建設事業費はいくらなのか。
事務局	まだ確定していないが、外構工事や解体工事も含めて70～80億程度と推測される。
委員	A案は費用面から難しいと思われる。市の中心である庁舎より大きいものは望ましくない。 市民のみなさんが利用できるような施設ということを考慮すると、B案かC案か。現体育館の2倍程度の規模感であり、駐車場を含む環境整備や機能複

	合化も今後考えていきたいとして、B案に賛成したい。
委員	スポーツという我々はすぐプレイヤーのことを考えてしまうが、資料にあるように、「みる人」、「ささえる人」もいる。高齢化を考えると、「スポーツをみる人」についても大いに考えたい。 これまで、自分自身プレイヤーとして活動してきたが、これからは「みる」側になる。 バレーやバスケットボールのリーグを誘致し、人を呼び込みたい。誘致には施設規模が小さいと呼びにくい。 観客席数からもB案が良い。 C案では、大きなイベントの開催ができない。 B案にしても、付帯施設等で狭くできるものがあれば、面積は見直すとよい。 また、防災拠点としても、施設だけでなく駐車場も含め、十分な面積が必要であり、駐車場はコンクリートで固めるのではなく遊び場としても使えるようにしてはどうか。キッチンカーを呼ぶことも考えられる。
委員	現時点でA～C案の結論は出せない。 やりたい種目ができるような規模とするべきである。 体育館としての利用だけにとらわれるのではなく、地域の拠点となって経済活性化を図れると良い。 事例や情報を収集したうえで決めていきたい。
委員	前回の委員会でも話に上がったが、コートの面数は現在と同じでよいのか。 新総合体育館の想定は、正規規格の面積のコート面数とのことだが、現状、数として足りていないと思われるため、会場を取ることがスムーズにいくようなコート面数を確保できるよい。
委員	今後は部活動の縮小により、みんなに平等にスポーツの機会が与えられなくなることが懸念されるため、新総合体育館はスポーツの良さを発信できる拠点としたい。施設の維持管理や稼働率が重要であり、「人が集えること」を大事に考える必要がある。 また、防災など、いろいろな対応ができることが大切であり、「機能性」も重視し、機能の複合により常に人がいるようになると良い。 子どもたちにとって、また、人を集めるという点において、あこがれの選手が間近に見られるような施設にすることが重要だと思う。 A案はやや大きいように感じる。
委員	C案は、中学校の県大会を開催しているビッグアリーナより小さい。 B案は、小牧市の体育館の事例と同規模であり、周辺体育館等と協力しながら全国大会も開催できると思われる。 A案は、東京や広島の体育館の事例と同等で世界レベルの大会の開催が可能

	な規模であるが、空調費用がかなりかさむと思われる。また、一般市民の使用料が高くなる不安もある。メインの利用者となる中高生や一般市民に配慮したい。岐阜市ので愛ドームも使いたいが、使用料が高くて使えない。 A 案は、市が整備するには大きい気がする。 スポーツの面から見れば、A 案は理想ではあるが費用面が高く、C 案は現総合体育館と変わらない規模となるため、B 案が良いと思われる。
委員	現総合体育館よりコート数を多く確保できると良い。にぎわい創出や競技スポーツの大規模大会開催の観点から見ると、C 案では小さいと思われるため、B 案が良いと思う。
副委員長	A 案の事例を見ると、各務原市の 2 倍以上の人口規模であることや B リーグのレギュラーシーズンの公式戦が行えること等により、施設が維持できていると思われる。 C 案の事例では、各務原市の人口規模より小さいので、もう少し大きくても賄えると思われる。 にぎわい創出には、利用方法や運営方法、いかに稼働率を上げるかといったソフト面の検討が必要になる。キッチンカーを呼ぶことやイベントの開催も考えられる。 施設利用のシミュレーションを行うと良い。
委員	「みる」ということは重要である。現総合体育館について、岐阜国体を誘致できていたらと思うと今でも寂しい気持ちになる。 新総合体育館では、B リーグや V リーグ等と呼んでもらいたい。バレーボールの 2 部だったと思うが、地元 JA ぎふのチームがある。バスケットボールの大会も OKB アリーナでばかりやっている。この程度の規模の大会は呼びたいため、B 案以上の規模を要望したい。
委員長	B 案という意見が多いように思うが、運営方法や稼働率を上げる方法、機能の複合化なども考える必要がある。
事務局	ずばりこの案でということは難しいかもしれない。前回の委員会で、15,000 m²を超える規模についても考えてはどうかとの話があり、今回の規模比較の検証をさせていただいた。15,000 m²を超える A 案については、概ね考えられないとの意見であり、現総合体育館よりコート数が減る規模はよろしくないとの概ね合意をいただいているので、12,000～15,000 m²程度とさせていただければと思うがいかがか。
委員長	それでは、12,000～15,000 m²を委員会の結論としたいがどうか。
委員	異議なし

議事 (1) 基本構想素案の確認について

ii) 整備手法、整備スケジュールについて

資料2 新総合体育館の整備手法について

資料3 新総合体育館の想定事業スケジュール

事務局説明	
・前回の委員会を踏まえ、本事業で採用が考えられる従来方式、DB方式、DBO方式、PFI方式の4つの事業方式について特徴とメリット・デメリット、スケジュールについて説明した。 ・当委員会の委員2名と事務局が参加した公民連携セミナーの内容のうち、沼津市、美濃加茂市、岡崎市の3市の取組みについて紹介した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	公民連携セミナーの感想をいただきたい。
委員	沼津市の例では、リノベーション物件の活用サポートを行っていた。みんなでまちを盛り上げようというところが公民連携の良いところだと思う。
委員	行政と民間がそれぞれの役割を果たし、連携していくことが重要である。 まちづくりについて、行政側に熱意を持って引っ張っていく人が求められる。民間が意見を出し、交流する機会を創出する。そのためにはコーディネーターも必要である。 事例では、一般市民に対しても、具体的な意見を求めている。 道路の占用許可、公園利用、川沿い利用、イベント開催時の出店の許可等、利用者を限定する法律の縛りがあることも知った。 空間利用が大事であると感じた。
委員長	本議題について各委員の意見を伺いたい。
委員	体育館は体育館として、周りにテナントを配置し小さなタウンを形成することも考えられる。 国道沿いも撤退や新規参入により店がどんどん変わっているが、店の配置は考えたほうが良い。 本構想にて、施設だけを考えるか、まちづくりとして周りも考える必要があるのか、判断に迷っている。
事務局	どういったまちづくりをしていくかはまだ決まっていない。例えば、PFIによる施設整備では、利益を上げるための施設を体育館に入れることを許可することもあるが、そういったことも現段階では決めかねる。今まで、手法としては、従来型で施設整備をしてきているため、今回の大規模な案件もそれに倣うことが考えられると思うが、皆様のご意見を踏まえて検討をしていきたい。
委員	レストランや喫茶店について、前はあったが今はないということもある。

	社会状況も変わっているため、自由に考えられれば良いと思う。
委員	体育館やグラウンド、他の施設を組み合わせるような総合運動公園型であれば、常に人がいる環境としやすいのではと思う。 市内に文化施設は点在しているため、集約は難しいと思われる。 施設に人を呼ぶとして、利用しやすさの課題はあるが、まちづくりとしての取り組みは必要と思う。 今の時点で、将来的な見通しがどれくらい立てられるのか、ということもあり、手法を決めかねる。
事務局	スケジュールについても、基本計画を1年で実施するように示しているが、期間は必ずしも決まっていない。あくまで現時点の想定である。 次年度の取り組みとしては、どの方式も基本計画策定を予定しているが、PFI方式のみ導入可能性調査が必要となる。仮に、従来方式となれば、市民の人に良いように発注したい。
委員	PFI方式とした場合、色々な人が手を挙げてくれるのかが心配である。 基本構想である程度の内容を示す必要があると思われる。
委員	設計や建設について、ノウハウを知っている人にやってもらった方が良いと思う。
副委員長	PFI方式は効率的にできるかもしれないが、市内の業者に対応できるところがあるか、市内に経済効果があるかどうかとも問題となる。市外や県外の民間事業者の場合、収益を上げたはいいが、その収益がどこに行くのかということを考える必要がある。
委員	市内の人が寄り、市外の人も来れば、お金を生み出す。 活用できるものは活用していきたいが、現段階で決めるのは時期尚早に思う。 多角的に見て決めていきたい。
委員	市民が使いやすいものとしたいが、どの方式が適しているかは分からない。 大会をやりたいと思うが、方式によって自由にできる、できないという話では困る。また、設計についても、メディアコスモスの雨漏りのようにデザインに凝りすぎて問題が出て困る。 使いやすさとお金の問題のバランスをとることが必要である。
委員	方式については、見当がつかない。 設計の話では、市民球場は雨漏りが酷く、設計段階で分からなかったことなのかと思う。 指定管理者制度については、管理だけでなく、運営面にも携われるようになれば良いと思う。任せすぎるとリスクが高まる懸念はある。
委員	現総合体育館は防衛省の補助を活用して整備されているものであるが、新しい総合体育館において活用を想定しているベターな補助金はあるか。

事務局	国の制度が毎年変わることに加え、詳細な条件に適合するのか調べないといけ ないので、現時点でどれが有利ということは言えない。
委員	現総合体育館で足りないのは駐車場であるため、これへの対応は厚くして欲 しい。快適に使えることが大切である。 経験のある従来方式が良いとは思いますが、運営面等の課題もあり、現状これが ベターであるという方式はない。
委員長	これまでの意見より、従来方式と民間活力の活用のいずれかとする結論は決 めかねる。
事務局	各務原市に合ったものとしていきたい。PFI 方式としても市の事業者がどれ だけ参画していただけるかにもよる。他市にお金を持っていられるようであ れば、民間活力の活用も悩むところではある。現時点では、従来方式を基本 として、今後、民間活力の活用についても検討していくという結論とさせて いただければと思うがいかがか。
委員長	事務局の提案に対してどうか。
委員	異議なし。

議事 (1) 基本構想素案の確認について

iii) 実施課題

資料4 事業実施の課題

事務局説明	
・新総合体育館を整備するにあたり、基本計画にて具体的な対応を検討すべき課題とな る事項について説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	この件に関して何かご意見やご質問はあるか。
委員	(意見無し)

議事 (2) パブリックコメントの実施

事務局説明	
・これまでの4回の委員会でのご意見を踏まえ、「基本構想(素案)」として取りまとめ、 委員に配布し、ご確認いただく。年内に資料を送送するため、何かあれば年明けに意見 を伺う。 ・確認後の「基本構想(素案)」について、1月中旬からパブリックコメントと市民説明 会を実施する。 ・パブリックコメントや市民説明会でいただいた意見に対する対応については、第5回 の委員会にて報告する。	

主な意見及び質疑応答	
委員長	この件に関して何かご意見やご質問はあるか。
委員	(意見無し)

3. その他

(事務局) 次回の委員会については、3月2日の火曜日に、本日と同じ9時からこの場所で開催する。